



# すてい~る

## 目次

### ● 特集 平成15年『賀詞交換会』開催

● 平成15年『賀詞交換会』開催	-----	1
● 新支部長訪問		
菊地太久治 東北支部長	-----	7
長谷川嘉宣 北関東支部長	-----	8
吉永 優 九州支部長	-----	9
● 突然おじゃま 浅野 俊(たかし) 浅野鋼材(株)・代表取締役	-----	10
● 私の愉しみ 永田裕通 永田鋼材(株)・代表取締役	-----	11
● 理事会・委員会報告	-----	12
● 事務局だより・編集後記	-----	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

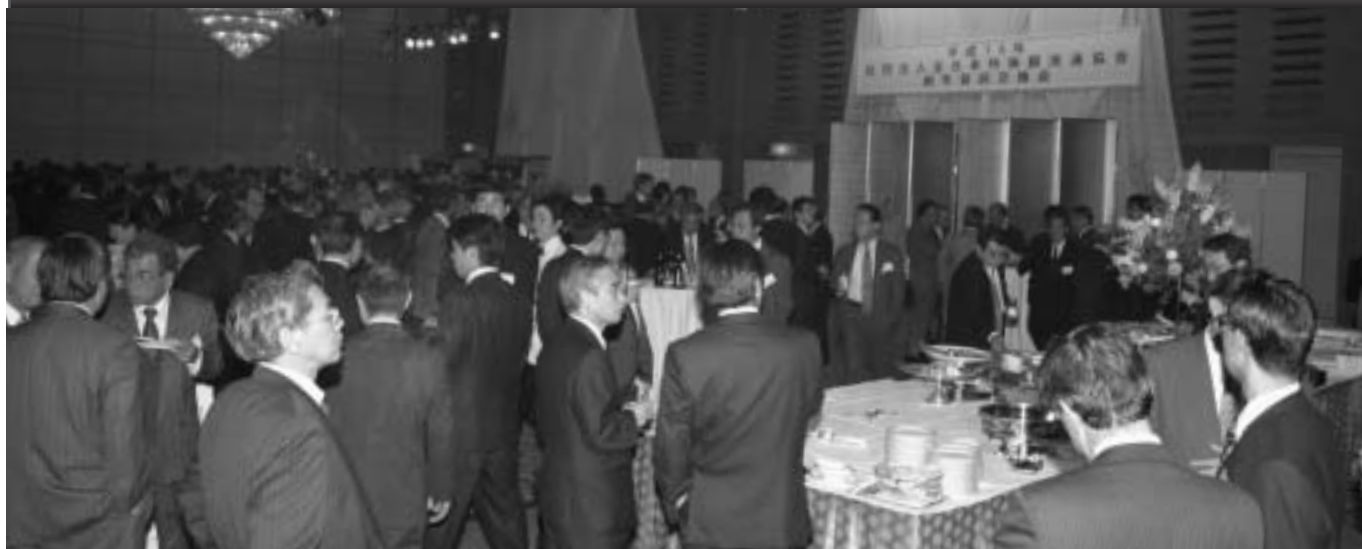
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail [zentoku3@ba2.so-net.ne.jp](mailto:zentoku3@ba2.so-net.ne.jp)

# (社)全日本特殊鋼流通協会 平成15年『賀詞交換会』開催



## 「粘り強く価格是正を」

## 「希望をもって難局を乗り越えよう」

全特協は1月20日（月）、東京・グランドヒル市ヶ谷で賀詞交換会を開催しました。

出席者数は全国より約380名、三上聡彦会長は「悲観論の多い現状だが、各社が経営資源を活かして、希望をもって難局を乗り越えよう」とあいさつ。更に「今年は粘り強く価格是正の理解を求めて、メーカー、流通、ユーザーが互いの利益を享受できるよう努力しよう」との抱負も述べました。

来賓には、経済産業省鉄鋼課長の半田力様をご多忙の中、駆けつけられ力強いご祝辞をお寄せいただきました。更に、僚友団体である（社）特殊鋼倶楽部会長の高山剛様（大同特殊鋼社長）による乾杯のご発声の後、賀詞交換会は賑々しく進行しました。中締めは、全特協・竹内誠二東京支部長の3本締めで今年1年の長久を祈念し散会となりました。

### 来賓祝辞

鉄鋼再生元年の起爆剤として  
特殊鋼に大きく期待

新年あけましておめでとうございます。

今年は、各方面から鉄鋼の回復、鉄鋼再生の元年であるという意見を耳にします。その背景は、鉄鋼業、特に高炉に限って申し上げれば、この1～2年間、高炉の削減とか下工程のリストラとかを一生懸命に取り組んできました。それとともに、過剰在庫も1年間かけて解消してきた。こうした、構造問題とマーケットの問題がともに解決し理想的な状態になってきて、こうした手法と状況を、より前向きに進めていくんだという手応えと自信を業界の皆さんが感じているからだと思います。

そうした中で、特殊鋼も輸出主導ではなく堅調な国内販売で伸びてきました。特殊鋼とは、鉄鋼業界の中でも最も高付加価値化が進んでいて、日本の製造業は特殊鋼なくしては生きられないといっても過言ではありません。いまや特殊鋼は、技術革新やユーザーとメーカーをつないだ情報の伝達などが相まって日本の製造業を支えているといえます。

また産業の空洞化、いわゆる中国問題というものも私自身あまり心配はしていません。



経済産業省製造産業局  
鉄鋼課長 半田 力様

ん。むしろ日本が、付加価値をより高い部分に特化していくことが重要だと思います。ご存知のように、日本は高齢化によって労働人口が減少しています。そうした中、中国とうまく付き合い、仕事の役割分担を進めていくのが重要なのではないのでしょうか。そうした、日本と中国の製造業における棲み分けを前提とすれば、鉄鋼業という分野ではそれが形成されつつあると感じています。

今年はどうした状況を背景に、量のみならず付加価値を高めていただき、特殊鋼が日本の製造業を支えているということを確認するものにし、鉄鋼の再生がさらに製造業の再生につながるような、実りある1年にしていきたい。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

# 会長年頭のあいさつ

## 団体メリットの活用、情報交換と交流を念頭に 会員の繁栄のための事業展開を

皆様、新年明けましておめでとうございます。

会員、賛助会員の皆様のご参加はもとより、公務ご多忙の中を経済産業省鉄鋼課半田課長、社団法人特殊鋼倶楽部高山会長はじめご来賓の皆様多数のご臨席を賜り、ここに平成15年賀詞交換会を賑やかに開催することができ、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の特種鋼流通業を顧みますと、第2四半期には在庫調整も進み、売上の減少に歯止めがかかるなど、一部に明るい兆しも見受けられました。



しかし、デフレが続く中、採算面の改善は遅々として進まず、特殊鋼流通を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、皆、生き残りをかけた経営努力に必死に立ち向かっております。

しかし、そのような中でも、昨年9月にはUEXの小田社長が東京都知事功労者表彰を、さらに昨年末には、深江特殊鋼の木村社長が日刊工業新聞の優秀創業者賞をそれぞれ受賞されました。関係者の皆様はもとより、業界の仲間としても大変喜ばしいことで勇気がわいてまいります。

また、昨年の特種鋼熱間圧延材の生産では、堅調な自動車生産や輸出向け鋼材の大幅な増加を受けて、1700万トンを超えと過去最高の生産を上げました。しかし、鉄鋼原料の急騰や販売価

格の下落により、厳しい状況にあることに変わりないのが現状です。

今年は、一部の産業に明るさも出てきておりますが、デフレの進行、厳しさを増す金融情勢、産業の空洞化など、依然多くの問題が山積しております。メーカー各社は、今年を価格改善の年と位置付けられておられます。

そこで、我々流通業はメーカーとユーザーの間に位置する機能を活かし、粘り強く価格是正の理解を求め、メーカー、流通、ユーザーの互いの利益を享受できるよう努力を重ねなければなりません。悲観論が多い状況ではありますが、各社はこれまで培ってきた経営資源を活かし、「希望」をもってこの難局を乗り越えていこうではありませんか。

今年で、法人化から8年目を迎える全特協では、(1) 団体のメリットを十分に活用した事業、(2) 会員相互の密接な意見交換、連絡等の事業、(3) 他団体との積極的な交流事業の実施を念頭にした中

(社) 全日本特殊鋼流通協会  
会長 三上聡彦あいさつ



期3年計画を3月末までに策定し、会員の繁栄のため事業展開を進めていく所存でございます。そのためにも、引き続きご協力、ご支援をお願い申し上げます。

会員各社のご発展とご参会の皆様にとりまして、実りある年となりますよう、祈念いたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。



# 乾杯あいさつ

## (社) 特殊鋼倶楽部会長 高山 剛 様のあいさつ

特殊鋼業界は技術集約産業であり、そして産業再生の要です。にも関わらず、利益なき販売という状況が長く続いているのが現状です。今年最大の目標は、特殊鋼販売の利益を適正な水準に戻して、業界全体が幸せになるように努力しなくてはなりません。全特協と特殊鋼倶楽部は、たとえば車の両輪です。お互いに力を合わせ、目標に向かってがんばりましょう。目標は、特殊鋼の復権です。



# 中締めあいさつ

## 竹内誠二東京支部長のあいさつ

昨年は、問題がなかなか解決しないという閉塞感の中終わった1年だったと思います。しかし、今年は政局、経済、金融、外交など、様々な局面で進展があると予想される1年です。結果がいずれの方向に進むかは予断を許しません。昨年同様に厳しい年であるかもしれません。しかし、非常に重要な勝負の年になることは間違いなく、是非良い結果を残せるようがんばりましょう。

# (社) 全日本特殊鋼流通協会 賀詞交換会

平成15年1月20日 グランドヒル市ヶ谷 瑠璃の間



# 各支部でも賀詞交換会、新たな出発を誓う

## 東京支部

新年賀詞交換会

日 時：1/20 18:00～20:00 グランドヒル市ヶ谷にて開催

出席者：380名

内 容：協会との合同開催

## 大阪支部

三団体共催新年賀詞交換会

日 時：1/6 18:00～ リーガロイヤルホテルにて開催

出席者：756名

内 容：(社)特殊鋼倶楽部大阪支部と大阪ステンレス流通協会との合同開催 近畿経済産業局産業振興部製造産業課長・井岡秀治様他2名及び、大阪府商工労働部商工振興室地域産業課長・伊藤幸雄様他1名出席

## 名古屋支部

特殊鋼三団体共催新年賀詞交換会

日 時：1/9 18:00～20:00 名古屋観光ホテルにて開催

出席者：380名

内 容：(社)特殊鋼倶楽部名古屋支部と名古屋ステンレス流通協会との合同開催 あいさつ・林名古屋ステンレス流通協会理事、乾杯・川本全特協名古屋支部長、中締め・斎藤特殊鋼倶楽部名古屋支部長



## 東北支部

新年賀詞交換会・講演会

日 時：1/24 13:00～18:00 仙台国際ホテルにて開催

出席者：47名

内 容：講演会 1.金型材料の今後の動向（日立金属）2.工具鋼の市況動向（大同特殊鋼）3.東北経済の現状（東北経済産業局）講演会の演題のあとに・前日から降り積もった雪で足元が悪い中、三上会長他、多くの参加をいただいた。なごやかな雰囲気の中にも、厳しい時代を反映し、真剣な会話も飛び交っていました。



## 北関東支部

新年賀詞交換会

日 時：2/9 14:00～16:00 ホテルふせじまにて開催

出席者：30名

内 容：三上会長、メーカー4社も参加。講演会等も同日開催

## 静岡支部

新年賀詞交換会

日 時：2/7 18:30～20:00

ブケ東海にて開催

出席者：25名

内 容：講演会も同日開催

講師:全特協・茂木総務部長兼東京支部事務局長に「東京六大学野球公式記録員の話」を聞く。



## 九州支部

特殊鋼二団体共催新年賀詞交換会

日 時：1/17 17:30～19:00 全日空ホテルにて開催

出席者：208名

内 容：九州ステンレス流通協会との合同開催

# 新・支部長訪問

—— 東北支部 菊地 太久治 支部長 ——



## 地方支部としての難しさはあるものの 会員相互の助け合いで親交を深めてゆきたい

### ■出先機関の方々の協力で支えられる

#### 支部運営

青森県をのぞく東北5県の34社で構成される東北支部は、非常に広域に渡る会員支部だ。会員企業の多くは宮城県、福島県にあるが、秋田県、岩手県さらには山形県と各地に点在する。

行事等の運営は、なるべく各県持ち回りでやりたいと考えているが、交通の利便性などから仙台が中心になりがちだという。

「地方支部ならではの苦勞といえば、やはりお互いが顔をあわせるだけでも大変だということでしょうか。その点でも、東北支部は会員の皆さんの非常なご苦勞とご協力で成り立っていると感謝しています」と菊地太久治東北支部長（（有）菊地ハガネ代表取締役）。

東北支部34社の多くを構成する会員は、支社・営業所などがあって支部に参加している、いわゆる出先機関の方々だ。地場のオーナー企業は13社にすぎないから、こうした出先機関の方々の協力なくして支部運営は成り立たないという。「地元企業は、広域に渡って点在していますし、ご存知のように4~5人程度の会社もあります。そうした地元企業のみでは、到底この広い東北支部をまとめてはいけません。出先機関の支店長さん、営業所長さんといった方々の多くに、支部の役員や委員を引き受けていただき、東北支部が円滑に運営できていると感謝の念で一杯です」と菊地支部長は語る。

### ■さまざまな情報を参考にしながら

しかし、広域に点在する地方支部としては、東北支部の会員各社の集まり

は悪くなく、会員同士のコミュニケーションも良く図れていると菊地支部長はいう。

「古くからの仲間内ですから、比較的なさん仲は良いと思いますよ。情報のやり取りも密で、おかげで商売上のトラブルもほとんどないのではないのでしょうか」。

業界の動向や経済環境の変化など、全特協に所属していることで得られるさまざまな情報もメリットだという。

「これまでに行なってきたパソコン関連を中心にした人材育成事業などは引き続き継続し、今後は、経営者や若手の営業職を中心に与信管理など会計関係の講習会や勉強会を開催していくと考えています」

特殊鋼販売技士研修などの全特協としての重点事業はいうに及ばず、こうした支部独自の企画をこなすことで、経営者から社員にいたるまでの意識改革や、特殊鋼流通業界全体の底上げが図れているのが実感できるという。

「協会全体の動き、または他の支部での動きなどを参考にしながら、東北支部でもできることを考えて実行しています。うちの真似をしていただいたという話は今のところ聞きませんが、広くいろいろな情報が得られるところが、全国組織の協会に所属するメリットであるとは実感しています」と菊地支部長。

### ■会員相互の理解を基本に情報交換を

今後の支部運営や全特協への要望などを菊地支部長に伺ってみた。

「やはり、同業者が集まっているわけですから、ビジネスに結びつくメリットを期待させるような団体であることが望まし

い。特に地方支部のそれは、会員相互の理解から生まれる有益な情報交換だと考えます」

本年の10月に定例会で北海道室蘭の工場見学会等を盛り込んだ行事を予定している。そうした行事のなかで、引き続き親睦を旨とした支部運営を目指している菊地東北支部長だ。

「全特協の総会も、仙台などの東北で開催されてはいかがでしょうか。全国的に見れば地域が偏っているから難しいかも知れませんが、その時は支部として惜しみなく協力させていただきますよ」（菊地支部長）。

## ■ コラム ■

（有）菊地ハガネが所在する一関市は、東京から新幹線で2時間30分の岩手県の玄関口。奇岩怪石の間をぬぐ急流あり滝ありの「巖美溪」（日本百景・天然記念物）などの名所が豊富で、新緑の頃や紅葉の頃は特に見頃だ。しかし、この地の最大の見所といえば、やはり中尊寺。金色堂に代表される3000余点の国宝や重要文化財を伝える平安美術の宝庫だ。こうした歴史的遺産と自然を背景に、世界遺産の登録に向けて活動を続けている地域でもある。



中尊寺金色堂（国宝）



## 支部運営の効率化と 会員企業の増加を念頭に活動したい

### ■東京の後背地として

#### 産業都市ひしめく北関東

昨年6月の改選期で北関東支部長に就任した長谷川嘉宣支部長（（株）長谷川ハガネ店代表取締役）は昭和14年1月生まれの64歳。東京都墨田区に生まれ、石原鋼鉄を皮切りに特殊鋼の業界に足を踏み入れる。昭和34年に父が経営していた長谷川ハガネ店に入社。同35年には、長谷川鋼鉄として独立し同38年に現在の群馬県太田市に居を構える。昭和41年には長谷川ハガネ店と合併し、その代表として現在にいたる。

足利山地などが北に見え、広大な関東平野もようやく尽きるところにあるのが群馬県太田市だ。その太田市は、戦後から金型産業の集積地として知られた、北関東有数の工業地域だ。これは、戦前の中島飛行機（現富士重工）に関係があり、技術者などその出身者たちが太田市の産業の基盤を作ったのだ。

太田市の金型産業は、自動車関連、家電関連を両輪として成長してきたが、近年、家電業界は海外への転出など空洞化が進み自動車業界へと鞍替える動きもあり、競争が激化しているという。

太田市だけにとどまらず、高崎、前橋足利など、東京の後背地として力を持つ産業都市がひしめく北関東で、「北関東ハガネ商組合」以来の14社16事業部、全30社が結集する北関東支部、長谷川支部長を訪れ、支部の近況などを伺った。

### ■北関東初の特殊鋼販売技士1級

#### 研修講座を重点事業に

—まず、北関東支部独自の特色とはなんでしょうか。

長谷川支部長 全30社の会員企業が支部に参画していますが、賛助会員がないのが大きな特徴ですね。これは、同じ場で顔を合わせ、同じ立場と責任で支部の運営に当たれるということで非常に大きなメリットがあります。

—地元のオーナー企業以外に多数の事業所も支部に参加されていますが、すべて同じ立場で運営されているわけですね。長谷川支部長 そうです。実際に、メーカー直系の企業の営業所長さんなども、支部の運営に大変協力していただいています。本来彼らは、企業に勤務する人たちですが、人材育成の委員や総務、会計など、支部の重要な役割を多く担っていただいておりますので感謝せねばなりません。

—北関東支部として、運営に気を使っておられることは。

長谷川支部長 支部に参画する会員は、群馬、栃木、茨城にまたがります。当然何かの行事につけ集まるのも大変です。そのため、例えば特殊鋼販売技士の講習会なども、何日にも分けて行なうのではなく、ちょっと大変ですが、丸一日6時間くらいかけて一度に集めて一度に済ましてしまうように効率的に心掛けています。

—今期の支部としての重点事業は。

長谷川支部長 特殊鋼販売技士に関しては、1級、2級、3級とすべての研修講座を開催する予定です。特に1級に関しては、北関東では初となりますので非常に期待しているところです。

—その他、支部で取り組まれていることは。

長谷川支部長 昨年の11月に東京ビッ

クサイトで開催された「工作機械見本市」にバスツアーで見学会を行ないました。これには、会員企業の社員も参加し、経営者だけでなく社員レベルまで協会運営のメリットが得られるような行事・運営を今後も計画していきたいと考えています。

—広く業界のためになるような運営を心掛けるということですね。

長谷川支部長 そうですね。すぐには効果が現れなくても、いろんな人のためになるような行事を支部として考えてゆきたいですね。

—今後の支部運営の課題等は。

長谷川支部長 前々から気になっているのが、全特協法人化の際に組合を抜けた企業さんたちです。何社かあるのですが、それを何とか引き戻せないか。そしてもう一度同じ協会の仲間にはできないかと考えています。

—同じ地域で同じ商売をやっている仲間同士、情報交換などできる環境を整えたいと。

長谷川支部長 そうですね。お互い顔をあわせて親睦も深まれば、無用な誤解やちょっとしたトラブルで疑心暗鬼になるようなこともないですからね。

# 新・支部長訪問

九州支部 吉永 優 支部長



## 人材の育成、地域貢献そして楽しさの追求と可能性のある支部運営

### ■人材育成を行ないながら

#### 業界の底上げに

九州支部は正会員5社、支部会員14社、賛助会員9社の全27社で構成される。なにぶんにも、地元の企業である正会員が少ないため、支部運営は持ち回りで行なわざるを得ないのが苦勞といえれば苦勞だと、吉永優九州支部長（特殊鋼機(株)代表取締役）は語る。

全特協法人化以来、協会としてのメリットは何かということについては、できるだけ多くの会員に共通のメリットがあるような取り組みを模索しつづけ、最近になってようやくある程度の方向性がついてきたのではないかと吉永支部長は感じているという。全特協が公益法人である以上、単なる親睦会としての役割だけでなく、地方支部も公益性を打ち出さなければいけない。そこで、九州支部の活動方針として打ち出すのが、「人」と「地域社会」の2本柱だ。

まずは「人」。これは、人材育成関連の事業である。

「今期も4～7月頃にかけて、特殊鋼販売技士の研修講座の開催を計画しています。さらには、現在の厳しい経済環境・経営情勢に対応するために、商社の人または金融関係の人などを招いて、与信管理などに関する研修を営業マン向けに行ないたいと考えています」（吉永支部長）。

従来から行なわれている、工場見学会も引き続き実施してゆく方針だ。

「会員企業の社員をも含めて、さまざまな見学会を行ないたい。同業、異業を問わず、他所さまがどのように仕事をしているのかを見ることは、経営者だけでなく社員全体まで、刺激となり啓蒙とな

り業界全体の底上げになると考えます。さらに、ただ見学してくるだけでなく一歩踏み込んだ見学会も検討中です。例えば、メーカーさんの工場を見学したら『何かお困りのことはないか』ひいては『何か協力できることはないか』などの意見交換が出来るような企画を現在模索しています」。

### ■地域社会への貢献を通じ、

#### 協会の意義や楽しさを共有したい

第2の柱の「地域社会」。これは、地元との関わりあいを意識した事業である。「特殊鋼業界というと、一般の方々にはあまり知られておらず、なじみがないのが現実です。そこで、何か地域社会に貢献でき、特殊鋼業界の存在をアピールできるようなことがないかと考えています。会社の社員やそのご家族も含めた行事をとり行なうなど、取り組みやすくあまり経費もかからないことでいえばボランティア活動なども良いでしょう。例えば、社員一丸となって海岸の清掃活動を行なうボランティア。これは昨年行なった活動でして、非常に好評でした。社員およびそのご家族も参加して、地域に貢献でき支部への参加意識も高まったように感じます」

今年も、引続きそうしたボランティア活動を始めた催事を企画し、社員やその家族、そして一般へも向けて、協会の存在感や意義を確かめてもらえるように検討してゆくという。

### ■業界の地位向上に加えて

#### 支部でも市況の問題が懸念に

もっとも、現実的な話題に転じると、

ここ九州支部でも市況に関する問題が会員各社の悩みのタネだという。

「協会の会合で市況の問題、つまり価格問題を論じることは本筋ではないのですが、やはり同業者同士より集まればこの話題の情報交換が主になっているのが実際です」

特に九州の経営環境は、全体の取扱量が少ないために、どうしても過当競争になりがちだ。そして結果的にデフレ圧力が強まることはご多分にもれない。

「この難しい時期に、市況を上昇傾向に持っていけないかというのは困難なことだとは思いますが、現在の価格を少しでも適正な水準に戻さなくてはいけない。そうした意見は、業界全体の一致した意見です。なんとか、業界の地位向上と合わせて、皆さんの働き甲斐のためにもがんばらなければいけない問題だと思っています」（吉永九州支部長）。



# 突然おじゃま



## 浅野鋼材(株) 代表取締役／浅野 俊(たかし)

今回おじゃましたのは、浅野鋼材(株)の浅野俊(たかし)社長。本社がある名古屋市市中川区上高畑は、加賀百万石の祖であった前田利家の生誕地、荒子城址に程近い。2002年のNHK大河ドラマ「利家とまつ」で一躍全国区になったのでご存知の方も多はずだ。

父親である先代社長から会社を受け継ぎ、今年結婚式を迎える夫人と二人三脚で社業を守り拡大させてきた。さらに2人の子息にも恵まれ、共に会社の後継者として育て上げられた浅野社長に、これまでの社業のことやご家族のことをお聞きした。

## 2代目として先代の礎を守り 後継者に渡せることへの満足感

### ■ 数十円からの小さな品目を扱って

浅野俊氏が先代から社業を引き継いだのは昭和55年のこと。父 巖社長の死去に伴うものだった。以来23年間、先代の頃、オイルショックの時期にこそ赤字決算という事態もあったものの、現在まで無借金の黒字経営。

「まあ、苦しいなかでの青色吐息の経営ですが、なんとかやってきました。それというのも、せいぜい1社あたり月300万円程度と、あまり大口の取引先がいなかったこと。それと、バブルの時に、会員券とか土地とか、投機に走らなかったことも幸いでした」

特殊鋼の組合に所属しているものの、磨棒鋼や平角鋼が主体で、特に磨きか売上全体の70%ほどをしめる。

「オヤジの代には、普通鋼が中心で今では磨きの平鋼が多い。名古屋を中心に200社くらいの取引先がありますが、ハガネ屋さんには磨きを買ってもらって、そこから細かな需要家に売ってもらっている」

名古屋の特殊鋼関連では、孟鋼鉄(株)、佐久間特殊鋼(株)、サハシ特殊鋼(株)、名古屋特殊鋼(株)などとの付き合いが深い。

「どの取引先様も、優良企業で恵まれています。名古屋のハガネさんは特にしっかりとした会社が多いので、ウチのような所帯の会社でもなんとか商売を守ってこれたと思っています」

磨き主体の仕事は、品目が多く、単価も安いという。

「伝票1枚で何百万円という仕事はウチにはありません。1個何十円からという単価、そして丸だの角だの六角だのと800種くらい品目を扱わねばなりません。ほんとに細かなシンドイ仕事です。」と浅野社長は笑う。

「しかし、おかげさまで今ウチにある10台のバンドソーと1台の丸ノコはフル回転です。とにかく千円、数万円の伝票の積み重ねですが、オ

ヤジが残してくれた事業をなんとか続けてこれたことは、取引先の皆様やすべての従業員、そして家族の力の賜物だと感謝しています」

### ■ 2人の後継者に恵まれた満足感

社内管理では、これまで労災事故や交通事故だけでは十分気をつけるようになってきたという。

「おかげさまで、これまで入院するような事故がないことは幸いでした。事故防止のため、現場の整理整頓も口やかましいくらいに言ってきたつもりです」

しっかりと片付けることで、危険防止への気持の持ちようが変わるし、在庫管理などへのメリットも大きい。

「能もないのに社長を続けさせてもらって、気がつけば名古屋の鉄屋仲間では、私が一番歳を食った社長になってしまった」と笑う浅野社長。しかし、長男で常務の嘉之氏と、次男で部長の薫仁氏(全特協・青年部会副部会長)という2人の息子達に会社の実務を任せられるようになってきたのは心強い限りだという。

「2人とも結婚を機に、わりあい遅くに家業を継いでくれる気になりました。今では、長男は芙蓉会の方で地元の皆さんと上手くやってくれているようです。また、次男は全国組織の青年部会で出会った仲間と、新しいことに取り組んでいるようです。同業者のなかには後継者不足で、廃業を余儀なくされる方もいます。当社はおかげで2人の後継者に恵まれ、まずはひと安心です」

「まあ、そろそろ老体は身の引きどころかなと考えています。実際、会社のことは常務と部長が取り仕切ってくれている。様子を見極めて、そろそろ引退を考えねばとは思っている今日この頃です」と語る浅野

社長の表情には、大きな仕事を成し遂げた満足感が溢れていた。

### ■ 日課のウォーキングで健康づくり

浅野社長は、これまでに大きな病気はないという健康自慢だ。

「健康のためにしていることといえば、毎朝早起きして、きっかり1時間6kmの速歩をするということでしょうか」

浅野社長の自宅近くの丘陵地帯には、大きな緑地公園があり、適度なアップダウンもあってウォーキングには最適だという。しかも、池があり森がある好環境だから、梅の花、うぐいすの声、さくらの花、新緑そして紅葉と、四季折々の自然が楽しめる。

「速歩で体を鍛えるという効果もありますが、森林浴で心も癒されることが病気知らずの秘訣だと思います」

早朝のウォーキングを終えたら、会社の経理を永年にわたって見てきた奥様と一緒に出社する。

「妻とは連れ添って、今年で50年です。会社をしっかりと見守ってくれた妻には、ただただ感謝です。家族を含めて20名ばかりの小さな会社ですが、みんな仲良く風通しが良いことは幸せなことです。若い人たちの今後には、大いに期待したいですね」

最後に全特協について一言うかがった。「こと名古屋に関して言えば、規模は大きくはないが堅実にやっている企業が揃っていると思います。また、同業者間でも比較的意図の疎通も図れ、仲良くやっている印象はあります。今後も、そうした素地をベースに会社の従業員や家族たちも含めた勉強や親睦の場になっていただければ幸いです」

# 私の愉しみ

永田鋼材(株)・代表取締役／永田裕通



## 基本の繰り返しとはつまらなくつらいもの

～ゴルフと私～

### ■ハンデ1もオールトリプルから出発

永田社長とゴルフとの付き合いは、40年以上もの長さになる。

横浜で自動車関係の会社を営む父が大のゴルフ好きで、自宅にはパター練習用のグリーンやティー打撃練習用の大きなネットが張ってあった。そうした環境のなか、休日にはごく自然に父からクラブの握り方を習い、中学3年生頃からはコースに連れ出された。初めて経験したコースは、磯子プリンスホテルの脇にあった9ホールショートコースで、その時のスコアが「パー27」に対して54打、つまりはオールトリプルという散々な成績だったという。

現在の永田社長はハンデ1の腕前だ。40年間のキャリアのなかで、どのように上達し、そしてゴルフによって得た心境とは何かを聞いてみた。



### ■構え・アドレスこそが上達のキーワード

大学入学後、永田社長は本格的にゴルフに取り組みだす。ゴルフ部に入ってから、毎日の練習、そして合宿と、ゴルフ漬けの日々を送る。1学年下の雅子夫人も、同じゴルフクラブの先輩後輩として出会った。2人にとっては、ゴルフが縁を取り持ったことになる。子供の頃からゴルフに親しみ、基礎的なことはできていたとはいえ、この頃

すでに永田社長のゴルフの腕前は、仲間内でも一歩抜きん出たものになっていたという。

ゴルフが上手になるためには、何か特別の練習方法や秘訣というものがあるのだろうか。永田社長によれば、「ゴルフの上達のための方程式はない」と言い切る。

ゴルフが上手くなるためには、百人百様の方法があり、細かな技術にこだわる人こそ上手くならないという。たとえば、スイングはこうだとか、ドリフトはこうかけるなどの技術論は意味がない。ゴルフでもっとも重要なのは、ショットするときの構え、すなわちアドレスの形をいかに保つかということに尽きるという。

事実、永田社長がスランプに陥るときも必ずアドレスの形が悪くなるそうだ。左右や前後に歪みが出ていい結果を残せなくなる。そのため、人にも見てもらいながらチェックを繰り返し、アドレスの状態には常に気を配る。つまり、同じことを繰り返し行なうということがゴルフ上達のコツで、百人百様の練習方法のなかでも、これだけは共通すると永田社長は断言する。

しかし、繰り返しの作業というのはつらく、そしてつまらない。そのため多く人は、何か新しいことをに挑戦したくなって「極小」をいじって上達を図ろうとするのだが、それではゴルフは上達しない。基本的な作業を、いかに繰り返していくかでゴルフの上達は決まるといふ。

### ■「プレッシャーに勝つには経験が必要

ゴルフは、技術以外に経験がものをいう面もあるそうだ。

実際のラウンドでは、さまざまな要因がプレーに影響を与える。パートナーに、相手のスコアに、そしてキャディにも影響を受ける。また、コースのレイアウトによってもプレッシャーは違う。そうしたプレッシャーに潰されると、アドレスが崩れていい結果が残せない。自分に負けてしまうのだ。もちろん、永田社長も何度かプレッシャーに負けて自滅したことがある。しかし、そうした経験を繰り返しながら次のプレッシャーに打ち勝つことができるという。

そうした経験のなかで得た永田社長の結論とは、「いろいろ考えてプレッシャーに潰されるのなら、アドレスをしっかりと取って、思い切って打つしかない」ということ。案外これが、いい結果をもたらすことが多く、こうした緊張感がゴルフの醍醐味ともいえ、自分との闘いに勝てば、スコアという数字に結果が表れる。その時のすがすがしい喜びは、ちょっとほかでは言い表せないものだそうである。



平成13年7月「名古屋ゴルフ倶楽部・和合コース」にて

# 理事会・委員会報告

## 第28回運営委員会

平成15年1月20日（月）

グランドヒル市ヶ谷 琵琶の間

### (1) 報告事項

- ①中期計画(仮称)等の検討状況について
- ②経営環境等に関するアンケートについて中間報告
- ③支部報告
- ④事務局報告
- ⑤その他(平成16年の賀詞交換会を1月23日と内定)

## 第20回調査研究委員会

平成15年2月14日（金）

東京・鉄鋼会館（社）特殊鋼倶楽部会議室

- ①中期計画に計上する事業について
- ②平成15年度委員会事業(案)・収支予算(案)について
- ③経営環境等に関するアンケート結果の評価について

## 第17回内外交流委員会

平成15年1月29日（水）

大阪・鉄鋼会館204号室

- ①中期計画に計上する事業について
- ②平成15年度委員会事業(案)と収支予算(案)について
- ③15年度の海外交流事業  
平成15年11月頃に4泊6日(機中1泊)でタイ(バンコク)を視察

## 第3回青年部会正副部会長会議

平成15年1月21日

赤坂エクセルホテル東急 舞の間

- ①平成15年度委員会事業(案)・収支予算(案)について

## 第16回人材育成委員会

15年平成2月18日（火）

東京・鉄鋼会館（社）特殊鋼倶楽部会議室

- ①中期計画に計上する事業について
- ②平成15年度委員会事業(案)・収支予算(案)について

特殊鋼販売技士検定試験委員会

平成15年2月18日（火）

東京・鉄鋼会館（社）特殊鋼倶楽部会議室

- ①特殊鋼販売技士1級試験問題選定  
(3月27日実施の検定試験の問題の選定)

# 事務局だより

## 1 当協会会員会社各地で受賞

### ①東京支部：(株) UEX・小田安中社長

(株) UEX・小田安中社長が平成14年10月1日東京都庁で、「永年に亘り東京ステンレス流通協会に尽くした功績」が認められ「平成14年度東京都功労賞表彰」され、石原都知事から表彰状と銀杯が贈られました。

### ②大阪支部：豫州短板産業(株)・森誠市社長

豫州短板産業(株)・森誠市社長が平成14年10月1日大阪市役所において、「働く人にやさしく、地域とも調和した快適な向上作りの普及・促進に貢献した功績」が認められ「平成14年度中小企業快適向上表彰制度」で、磯村市長から表彰状と記念品が贈られました。

### ③広島支部：深江特殊鋼(株)・木村久男社長

深江特殊鋼(株)・木村久男社長が平成15年1月15日東京・飯田橋のホテルグランドパレスにおいて、日刊工業新聞社から「第20回優秀経営者顕彰制度」で、「中堅・中小企業の優れた経営者」に選ばれ、表彰盾と副賞が贈られました。

## 2 大阪支部事務局長が三木昭男氏から曾根 衛(まもる)氏に交代



曾根 衛(そね まもる) 1935年3月13日生まれ。早稲田大学卒

昭和37年4月 山陽特殊製鋼(株) 入社(人事部人事課)

姫路営業所 所長から

大阪支店販売第三課 課長のあと、

名古屋支店特品販売課 課長を経て、

平成2年4月 営業本部東京営業部 営業第二室長就任。

その後、労政部能力開発室 室長、

濱中ナット(株)、陽鋼物産(株)を経て

平成11年3月 定年退職ののち、

平成14年12月 12月1日 大阪特殊鋼3団体事務局長就任

## 編集後記

今年初めての「すてぃーる」をおとどけいたします。今年も協会・各支部で盛大な賀詞交換会が開催され、賛助会員、関係業界等の方々と有意義な交流が図られたものと思います。三上会長は協会の賀詞交換会で「景気の低迷による悲観論が多い中ではあるが、これまで各社が培ってきた経営資源を生かして「希望」をもってこの難局を乗り越え

て行こう。」と声高く述べられましたが、これに基づいて会員各位も積極的に取り組んでいただき、社業、業界の繁栄につなげて欲しいものです。

総務委員会委員長・広報誌発行責任者／福岡 富司